



農業の発展に貢献 長谷川 幸男氏秋の叙勲を



完成間近の市民センター

岩見沢

地域のお話を寄せて下さい 岩見沢支社 電話(0126)22-3700 0126)22-8367

栗沢市民センター完成間近

=来年1月から供用=

【岩見沢】老朽化している「栗沢市民センター」は、来年1月栗沢市民センターの2からの供用を目指して施設を統合、再整備し完成を急いでいる。



【岩見沢】栗沢市民センターの老朽化している「栗沢市民センター」は、来年1月栗沢市民センターの2からの供用を目指して施設を統合、再整備し完成を急いでいる。

農業の発展に貢献 長谷川幸男氏秋の叙勲を伝達 御茶の水町在住 長谷川幸男さん 秋の叙勲を伝達

地域活性化や交流、文化活動の場を基盤とする。旧市民センター跡地約7400平方メートルに新築している。鉄筋コンクリート造の平屋建て、面積は1814平方メートル。施設は、ダンス等の

秋の叙勲で元北海道用農協連合会経営管理委員会として旭日章を受賞し、18日に知総合振興局で勲章配給の伝達を受けた。二人に大きな



岩見沢 長谷川幸男さん 農協に結集することが大事

住農家をしながら、年まで組合長、08年市政大を通信教育で卒業した。25年に「小麦」をテーマに作付けし、会長、北海道農協中央会副会長などを歴任し、組織運営に尽力している。農協に結集する

「体が健康なのは農作業を続けているおかげ」と笑う。市内約25畝で米、麦、カボチャの生産に励む。オホーツク管内津別町出身。実家は農家で10歳の時に岩見沢に転居した。定時制高校通学時から農業を手

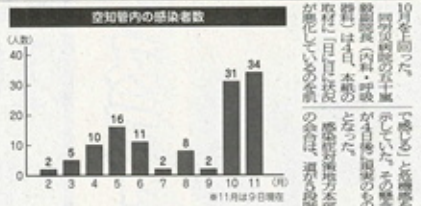


現役農家の元農協組合長 長谷川 幸男さん(72) 伝い、いわみさわ農協組合長やJABA北海道通信経営管理委員会会長などを歴任。同農協は地域ごとの6農協が合併してできたため、「各農協で米の需要が減っているが、まずは今季の豊作に胸を寄せた。」

新型コロナ急増

岩見沢、滝川でクラスター 対策本部が空知11月に入り34人感染防止通知

新型コロナウイルスの感染が10月以降急増している。空知管内では、10月10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日、合計34人の感染が確認された。



11月で感染拡大を抑え込みたいと話す高野局長(中央)

今冬、初めのまとまった雪 岩見沢1531センチ 滝川は1531センチ



一面、銀世界となったJR岩見沢駅前=10日午前9時

市政功労者表彰式 6氏の功績を顕彰



【岩見沢】市は20日、状と功労章を手渡し表彰式を開き、市議会議員の功績を顕彰した。本年度の受賞者は井嶋修一さん(70)、東海林公一さん(79)、高柳利雄さん(86)、小笠原千伊子さん(82)、小林タモ子さん(82)の6氏。市長は「功績を顕彰し、今後の市政の発展に期待を寄せた。」と述べた。

【岩見沢】栗沢市民センターの老朽化している「栗沢市民センター」は、来年1月栗沢市民センターの2からの供用を目指して施設を統合、再整備し完成を急いでいる。